

造園施設材料学特論 (2単位)

担当者氏名 山崎元也

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

造園施設とその材料について学ぶ。庭、都市公園、道路造園など、造園建設の空間のスケールによって、造園施設とされる対象もさまざまであるが、造園施設の構造・機能と材料の利用法を、事例研究も含めて学び、身近に捉えられるようにする。石材、木材、コンクリート、鋼、アスファルト等とそれを用いた施設について講義する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

石材 _____ 木材 _____ コンクリート _____ アスファルト _____
庭園施設 _____ たてもの _____ 構造物 _____ 品質 _____

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	庭園施設と材料	各種庭園施設と石材・木材の利用について	シラバスの内容を十分に理解して、事前の学習にあたること。 また、各講義では、講義内容を記載したプリントなどを配布するので、講義後の復習に活用すること。
2	石材の種類と施設	舗石を中心に、各種石材の特徴と利用法	
3	木材の種類と施設	東屋、門と各種木材の特徴と利用法	
4	公園施設と木材加工	遊具、デッキへの木材の利用と加工	
5	材料の加工とイメージ	石材・木材の加工と外観のイメージ	
6	公園のたてものと材料	たてものの材料と意匠―事例研究	
7	公園のたてものと材料	たてものの材料と構造―事例研究	
8	造園施設の構造・機能	設計の実際	
9	コンクリート構造物	道路	
10	コンクリート構造物	橋	
11	コンクリート構造物	その他の施設	
12	アスファルト構造物	新工法	
13	構造物の実際	実物の観察	
14	構造物の実際	実物の観察	
15	管理	ライフサイクルマネジメントを考慮した材料	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)

資料配布

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)

/ / ()

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート・課題提出 (100%)

◆オフィスアワー

授業終了時に相談することを基本とする。または造園科学科の担当科目を参照のこと。

◆その他受講上の注意事項